



かがやく浜の子

平成30年度1月号

平成30年度重点目標 気づき 考え 行動する子 「自分から みんなで」

「何となく 今年はいい事 あるごとし 元日の朝 晴れて風なし」 石川 啄木

平成最後の年となる31年がスタートしました。元日は穏やかな日となり、啄木の俳句のような思いを持ちました。今年が白小の子供たち、保護者の皆さん、地域の皆さんにとって素晴らしい年になることを願っています。

始業式の日の朝、学校前で子供たちを迎えていると、「おはようございます！」という元気なあいさつと、やる気を感じる笑顔がたくさん見られました。やはり学校の主役は、子供たちであることをあらためて感じるとともに、身が引き締まる思いになりました。

※

「まとめ・つなげる」3学期、「感謝する」3学期に

1月はいく（行く）、2月はにげる（逃げる）、3月はさる（去る）とよく言われるように、3学期は1・2学期と比較すると、あっという間に過ぎるように感じる学期です。実際の登校日も、50日と他の学期の3分の2ほどです。短い学期だからこそ、一日一日を大切にし、充実した「まとめ、つなげる」「感謝」の学期にしたいと思います。

まとめ、つなげる3学期

「一年の計は元旦にあり」。「計」には計画という意味があります。つまり、事にあたっては、最初にしっかりと計画を立ててから臨むことが大切だということです。3学期は、短い学期であるからこそ、目標を立て、計画的に進めることが必要になります。始業式では、3人の代表児童が、3学期の目標を全校児童の前で、発表しました。3人とも、立派な発表で、3学期の意欲が感じられる内容でした。

6年生は3学期が終わると中学生になります。残された2か月余りを小学校のまとめと同時に中学生になるための準備の時間として過ごし、気持ちよく卒業式を迎えてほしいです。5年生は、6送会などの全校を動かす行事を企画・運営し、6年生からバトンを引き継ぎ、学校のリーダーとしての心構えをつくっていきます。1年生から4年生も、学習や生活のまとめを行い、一つ上の学年に進むための準備をしていきます。

感謝する3学期

今年の夏、サッカーワールドカップで、敗戦後にもかかわらず、試合後の日本代表チームのロッカーがきちんと整頓され、ロシア語で「ありがとう」と書かれたメモまで残されていたことが、世界的に賞賛されました。修学旅行で6年生が、宿泊したホテルを出る際、きちんと整理整頓し、お礼のメモを残したことは、先の学校だよりで記させていただきましたが、相手に思いを馳せ、感謝の気持ちを表現する態度は、日本の誇るべき文化であり、伝統なのかもしれません。

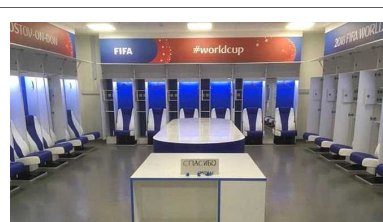
今年度も、子供たちはたいへん多くの方々にお世話になりながら日々の生活を過ごしてきました。お家の方はもちろん、学校では、サポート隊、クラブのはばたき先生、生活科・はばたき学習の講師の方、シニアスクールの皆さん・・・等、数え上げれば、きりがなくらいです。

3学期は、そうした方々に「あさしおごはん」の「あ（ありがとう）」を実践する大切な時です。「ありがとう」は、過去NHKのアンケート調査で、一番美しい日本語となったことがある言葉であり、言った方も言われた方も、心が温まる言葉です。また、感謝の気持ちを表せる人は、きっと感謝される人にもなれると考えます。感謝の気持ちを、言葉や態度で表すことで、人とのかけわりの大切さを学ばせたいと考えています。

※

新学期が始まり、保護者・地域の皆様には、早速、朝の交通立哨に御協力いただき、ありがとうございます。本年も、子供たちのために、職員一同、努めてまいります。

（文責 校長：石谷）



日本代表の試合後のロッカー